

## 月の輪への挑戦



くまの課程のカブスカウト（くまスカウト）は、小学校5年の1月になると、「月の輪」に取り組みます。くまスカウトだけの組（月の輪組）を作り、月の輪リーダーという専任のリーダーの指導のもとでボーイスカウトの初級課目を履修します。履修の期間は3か月で、4月には、ボーイスカウト隊に上進して、ちかいをたてて、初級スカウトとなり初級章を着用します。

月の輪を履修するカブスカウトを「月の輪スカウト」と呼びます。月の輪スカウトはカブスカウトの集会とは別に、月の輪チーフリングと月の輪章を着用し、月の輪組を活動の単位として、「月の輪集会」の中でボーイスカウトの班活動に近い形の活動を体験します。

### <月の輪の取り扱いの要点>

#### 1. カブスカウト活動への積極的な関わり

- ・ 月の輪は、憧れのボーイスカウトへの橋渡しとなるものです。カブスカウトとしての三年間、活動の中で、あるいは日常生活の中で「カブスカウトのやくそく」、「カブスカウト隊のさだめ」をどのように意識し、どのように実践してきたのか、スカウト自身が振り返り、やがてそれが「ちかい」と「おきて」につながるものであることに気づき、それを実践していくための動機付けとして位置づけられます。
- ・ 月の輪スカウトは、活動の中で初級課目の履修に取り組む一方で、カブスカウト隊の活動（組集会、隊集会、組長集会）にこれまで以上に積極的に参加し、後輩のカブスカウトを指導し、またデンリーダーや隊長、副長のお手伝いをするなど、最年長カブスカウトとして活動で主要な役割を果たします。

#### 2. 仲間作り

- ・ 月の輪の活動は、毎回の月の輪集会で展開されるゲームを通じて、月の輪組の仲間と協力し、競い合い、励まし合いながら進めます。
- ・ ボーイスカウト隊では「班」が活動の単位となります。ここでは班長を中心に、それぞれ役割と責任が与えられた班の仲間が協力して、高い目標に向かって自分のベストを尽くして活動に取り組みます。そうした班の仲間は互いに固い絆で結ばれ、班の活動はスカウトの成長発達の契機となります。
- ・ 初級課目のねらいはそうした班活動ができるような「仲間作り」にあります。先ず一人一人が自分のことが自分でできるようになり、そのメンバーが互いに良好な関係を築き、リーダーシップとフォローアップを発揮して、楽しい班活動を展開できるようにしますが、これにはさらに班の仲間が互いを評価する（認め合う）ということも含まれています。
- ・ そうした活動内容の違いのため、カブスカウトからボーイスカウトになって、いきなり班の活動に加わってもすぐに馴染むのが難しいので、上進前に月の輪組を作って活動しながら、
  - ① チームの一員になって役割を分担し合い、それぞれの責任を果たす体験をさせて、
  - ② チームビルドを進め、そのあるべき方向性を示し、あるいは示された方向性に従って、メンバーが互いに協力しながら積極的に活動に関わるように動機付けを行って、ボーイスカウトの班活動に近い形の活動を行って仲間作りを行います。

#### 3. ボーイスカウト隊の活動に慣れる（自発活動への動機付け）

- ・ カブスカウトでは学年による進級という形式を取っていますが、ボーイスカウトでは、スカウトがそれぞれ自分で履修計画を立て、隊長の支援を受けながら自発的かつ計画的に履修に取り組みます。（従って学年が上がってもそれだけで進級することはできません。）
- ・ そして履修できた課目について、班長や隊長から審査を受け、すべての課目の承認を受けた後に、所定の手続きを経た上で進級をします。
- ・ 月の輪ではこうしたボーイスカウトの活動の進め方を踏まえて、
  - ① まず自分でやってみる。家庭で、あるいは月の輪集会で、自ら進んで、また月の輪組の仲間と教え、教わりながら、主体的に課題に取り組むこと、

- ② そして出来たことに対して月の輪リーダーから評価認定を受けることを体験させて自発活動を促します。

#### 4. 指導者としての理解

- ・ 月の輪で初級課目を指導、支援する指導者である「月の輪リーダー（※1）」は、スカウト運動における指導者として「ちかい」と「おきて」についての基本的な理解とスカウティングについての知識、経験をお持ちの方を、カブスカウト隊長が任命します。月の輪リーダーは専任の指導者として月の輪スカウトが取り組む初級課目の履修について責任を持ちます。
- ・ 月の輪がカブスカウトからボーイスカウトに向けて助走を始めて、早く「班活動」に慣れるようにする趣旨であることから、その履修の進め方については月の輪組を主体とした月の輪スカウトの自発的な取り組みを促進することが大切です。
- ・ こうしたことから月の輪リーダーは、月の輪の活動について（プログラムの企画や運営について）は、カブスカウト隊長とボーイスカウト隊長との密接な連携が必要となります。
- ・ 特にボーイスカウト隊長は、上進してくる月の輪スカウトについて、その履修の状況や取り組みの様子をボーイスカウト隊の「班長会議」で伝えて、班の仲間として受け入れさせる必要があることから、月の輪スカウトのことを良く知り、励ますために、月の輪スカウトとの面談をするようにします。

##### （※1）月の輪リーダー

- ・ カブスカウトおよびボーイスカウトについての知識、技能、経験を有する 20 歳以上の男女で、月の輪スカウトの指導および月の輪集会の運営の責任者にふさわしい方を選びます。
- ・ このため月の輪リーダーは、カブスカウトまたはボーイスカウトの両部門または少なくともいずれか 1 部門の隊指導者基礎訓練課程（ウッドバッジ研修所）を修了されている方、もしくは同等の知識、経験をお持ちの方が望ましいと考えます。
- ・ しかしながら、特定の指導者に過度の負担がかかるのを避け、指導者全体で月の輪を支援できるようにすることも重要なので、カブスカウト隊およびボーイスカウト隊の隊長の相互協力の下で、双方の隊の隊指導者（副長やデンリーダー）が兼任することも認められます。
- ・ 月の輪リーダーは月の輪の活動プログラムを作成します。毎回楽しいゲームを取り入れた月の輪集会を企画して、月の輪スカウト一人一人の進歩の向上を目指します。
- ・ プログラムの作成に当たる月の輪リーダーは、カブスカウト隊の隊長およびボーイスカウト隊の隊長と密接な連携が必要です。リーダー会議にはどちらの隊長も出席してもらって、プログラムを検討し、スケジュールを調整し、より良い運営を進めるための助言や支援をしてもらいます。

#### 5. 月の輪組と月の輪集会について

- ・ 月の輪はその趣旨から、指導者とスカウトが1対1で行うよりも、月の輪組の仲間が集まって、メンバーとともに取り組みを進めていくことが望ましいと考えます。多くの仲間が月の輪集会に主体的に関わりながら、互いに協力し、競い合い、励まし合って履修を進めるようにします。
- ・ カブスカウト隊の事情によっては月の輪組の編成が難しい場合があるかも知れませんが、隊を取り巻く多くの指導者、保護者、関係者の理解と協力を得て、そのための環境整備に努める必要があります。
- ・ そうすれば月の輪集会は、その成果を発表し、また評価認定を受ける場として自発活動への励みになる楽しい活動ができて、進級への意欲が高まるようになるでしょう。

##### ＜初級課目＞

- ・ 月の輪で履修する初級課目は次の通りです。
- ・ 初級課目は5つの分野で12の細目があります。
- ・ すべてを履修した後、班長会議で履修認定をします。

初級課目
<p>1. 基本</p> <p>(1) 「ちかい」と「おきて」が言える。その上で、隊長と話し合う。</p> <p>(2) 「スカウト章」、「モットー」、「スローガン」の意味を説明できる。</p> <p>(3) 日本の国旗の正しい様式を知り、集会で掲揚柱に掲揚する。</p> <p>(4) 「連盟歌」を歌える。</p> <p>(5) 普段の集会で必要なもの（訓練用具）を知り、携行する。</p> <p>(6) スカウトサイン、敬礼、スカウトの握手ができる。</p>
<p>2. 健康と発達</p> <p>(1) 体温と脈拍を正しくはかることができる。</p>
<p>3. スカウト技能</p> <p>(1) 自分の体や身近にあるものを用いて簡単な測量を行う。</p> <p>(2) 集会で使う身ぶり信号（気をつけ・休め・すわれ・別れと集合隊形の各種サイン）、笛の合図を覚える。</p> <p>(3) 次のなわ結びを実際に行い、使いみちを知る。 ①本結び ②一重つぎ ③ふた結び ④もやい結び ⑤8の字結び</p>
<p>4. 善行</p> <p>(1) 集会などで行う社会奉仕活動に積極的に参加する。</p>
<p>5. 信仰奨励</p> <p>(1) 隊で行う「スカウツタウン・サービス」に参加する。</p>
<p>6. 班長会議</p> <p>(1) 初級スカウトとして進級することを班長会議で認めてもらう。</p>

## <履修のねらいとヒント>

### 〔1〕 基本

#### <ねらい>

- ・ カブスカウトのやくそく、カブスカウト隊のさだめが、それぞれ「ちかい」と「おきて」につながっていることに気づかせて、これからの自分の態度、行動、心構えについて具体的なイメージを持たせます。

#### <取り組みのヒント>

- (1) カブスカウト自身の経験を振り返らせながら、「カブスカウトのやくそく」と「ちかい」、あるいは「カブスカウト隊のさだめ」と「おきて」とを対比させて、その関連性や継続性に気づかせます。
  - ： 「つとめを果たす」ということはどういうことか、そしてそれをみんなの前で、あるいは自分自身に「ちかう」ということはどういうことか、それを具体的に実践するためにどうすればいいのかということを考えてみるように促します。
  - ： そしてそれがさらに「信頼と名誉」につながることを説明します。
- (2) スカウト章、モットー、スローガンの意味を知り、それが「ちかい」と「おきて」の実践にどのように関連しているのか、具体的にどのような行動をすることなのかについて考えさせます。
- (3) 国旗の取り扱いを実習させながら、なぜそのような所作をするのか考えさせて、それが「ちかい」と「おきて」の実践につながることに気づかせます。
- (4) 連盟歌の歌詞に込められている「ちかい」と「おきて」の精神について説明し、「名誉」について考えるように促して、意欲を高めるように指導します。

- (5) 活動のために「準備」をするということの意味を考え、それが「ちかい」と「おきて」、 Motto とスローガンを実践することにつながることに気づかせます。
- (6) スカウトサイン、握手、敬礼の所作を実習させ、これが世界中のボーイスカウト共通のものであることを説明し、スカウト運動の歴史と世界への広がりについて説明します。  
：そしてそれらが「ちかい」と「おきて」にどのように関連しているか考えさせます。

## 〔2〕 健康と発達

### <取り組みのヒント>

- (1) 脈拍と体温の計り方を実習し、それが自分自身の健康維持、体調管理につながることに気づかせます。  
：そして日ごろから身体の健康、心の健康に留意することが「ちかい」と「おきて」の実践につながることを説明します。

## 〔3〕 スカウト技能

### <ねらい>

- ・ スカウト技能に興味と関心を持たせ、技能向上を目指すことによって「ちかい」と「おきて」、「Motto」と「スローガン」の実践につながることに気づかせます。

### <取り組みのヒント>

- (1) 自分の身体や身の回りのものを測定し、それが日常生活の計測に役立つことに気づかせます。
- (2) スマートネスについて説明し、チームで行動するときの規律の大切さについて考えさせます。
- (3) ロープの基本的な結び方を確認させ、隊の活動や日常生活の中で用途に応じた結び方ができるようにします。  
： ロープの材質や形状に関心を持たせ、それに応じた管理や手入れを実行させるようにします。

## 〔4〕 善行

### <ねらい>

- ・ カブスカウト隊の一員としての身近な体験を通じて、社会の一員として為すべきことを考え、自ら進んでつとめを果たす気持ちを養います。

### <取り組みのヒント>

- (1) 集会で、地域で行われるボランティア活動や社会奉仕活動の機会を作り、そして、活動を体験することにより、みんなの役に立ったこと、そしてそれが「ちかい」と「おきて」の実践につながったことに気づかせます。
- (2) 最年長カブスカウトとして、カブスカウト隊の活動の主要な役割をつとめる体験をすることにより、みんなの役に立ったこと、そしてそれが「ちかい」と「おきて」の実践につながったことに気づかせます。

## 〔5〕 信仰奨励

### <ねらい>

- ・ スカウトツォウン・サービスを体験し、自然の恩恵や自分の身の回りの人々への愛と感謝の気持ちを育て、信仰心が芽生えるきっかけにします。
- ・ また「信仰奨励章」について説明し、ボーイスカウトの期間に取得するように促します。

### <取り組みのヒント>

- (1) スカウトツォウン・サービスについて説明し、月の輪集会の中で実施するか、ボーイスカウト隊の集会のときに参加する機会を持つようにします

## 〔6〕 班長会議

### <ねらい>

- ・ 班長会議はボーイスカウト隊の班長が隊の運営や活動プログラムについて協議する自治の組織です。
- ・ ボーイスカウト隊長はこの会議に助言者として参席しますが議決には加わりません。
- ・ この会議で班のメンバーの進歩に関することについても話し合われます。
- ・ 月の輪スカウトが初級課目をすべて履修し、初級スカウトとして進級することを、班長の総意のもとで認定し、班の仲間として受け入れることとなります。
- ・ このため班長は月の輪スカウトの履修の状況や取り組みの様子について、助言者として参席しているボーイスカウト隊長からの詳しい報告をもとに協議を行います。
- ・ ボーイスカウト隊長は月の輪リーダーならびにカブスカウト隊長と密接に連携して、月の輪スカウトの初級課目への取り組みの様子を見守り、支援を行うとともに、直接月の輪スカウトと面談する機会を持つようにします。

### <取り組みのヒント>

- (1) ボーイスカウト隊長は、月の輪スカウトが自ら進んで初級課目に取り組み、月の輪集会およびカブスカウト隊の集会に進んで参加したことを認め、これまでの頑張りを誉めて、初級スカウトとしての実力が備わっているので自信を持ってボーイスカウト隊に上進するように励まします。
  - ： 特に「ちかい」と「おきて」をどのように理解し、これまでの活動の中でどのように実践してきたかを振り返らせ、さらにこれからの活動の中で実践していくように指導します。
  - ： また「班」が活動の中心になることを協調し、仲間同士が互いに協力し、励まし合いながら成長する場となるので、仲間に加わって積極的に関わりながら、楽しく活動をするようにいざないます。

詳細は、平成27年2月発刊予定の月の輪リーダーハンドブックをご参照ください。